

■コメント

1. 梅毒

3件の報告があり、依然として報告数が多い状況が続いています。今年の累計は94件(男性61件、女性33件)となり、すでに昨年の報告数(62件)を大幅に上回っています。梅毒に感染したおそれのある方は、早期に医療機関を受診しましょう。

2. 風しん

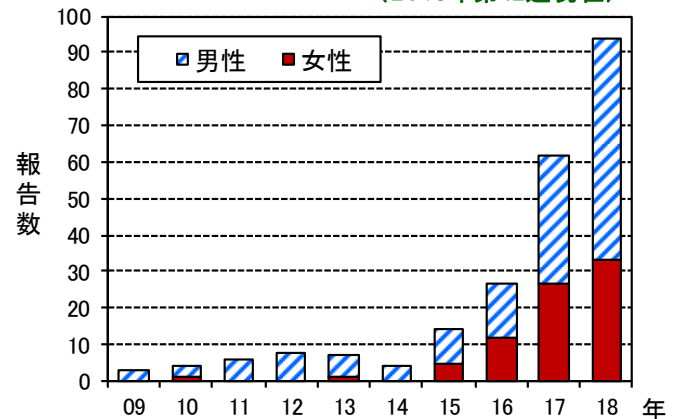
1件の報告があり、今年の累計は9件となりました。風しんは、発熱、発しん、リンパ節の腫れを特徴とするウイルス性感染症です。妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群を発症することがあるため、注意が必要です。(次頁参照)

3. インフルエンザ

定点医療機関から19人(定点当たり0.51人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。

梅毒の年間報告数の推移

(2018年第42週現在)



【参考】梅毒に関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	19	0.51	0.08	↑	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.68	
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.37	↗	小児科	RSウイルス感染症	11	0.46	1.07	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.58	1.58	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	106	4.42	4.39	↗	眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.68	
	水痘	5	0.21	0.43		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	43	1.79	1.03	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.11		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
	突発性発しん	10	0.42	0.40		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	9	0.38	0.22		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	105	男性(60歳代)、女性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	9	男性(50歳代)・推定感染地域: 国外
5	梅毒	3	94	男性(20歳代)、男性(30歳代)、男性(50歳代)
5	百日咳	3	52	女性(10歳未満)、男性(10歳代)、女性(40歳代)
5	風しん	1	9	女性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎	(感 染 性 胃 腸 炎) (ロ タ ウ イ ル ス)
報 告 数	広島市	第38週	-	6	36	87	2	56	3	7	7	4	25	-	10	-	-	2	-	-
		第39週	7	4	42	91	3	47	2	4	13	9	31	-	16	-	-	-	-	-
		第40週	15	6	47	91	7	47	3	4	2	8	16	-	6	-	-	-	-	-
		第41週	8	10	34	95	6	42	5	9	11	3	14	-	4	-	-	4	-	-
		第42週	19	16	62	106	5	43	1	10	9	4	11	-	6	-	-	-	-	-
定 点 当 た り	広島市	第38週	-	0.25	1.50	3.63	0.08	2.33	0.13	0.29	0.29	0.17	1.04	-	1.25	-	-	0.29	-	-
		第39週	0.19	0.17	1.75	3.79	0.13	1.96	0.08	0.17	0.54	0.38	1.29	-	2.00	-	-	-	-	-
		第40週	0.41	0.25	1.96	3.79	0.29	1.96	0.13	0.17	0.08	0.33	0.67	-	0.75	-	-	-	-	-
		第41週	0.22	0.42	1.42	3.96	0.25	1.75	0.21	0.38	0.46	0.13	0.58	-	0.50	-	-	0.57	-	-
		第42週	0.51	0.67	2.58	4.42	0.21	1.79	0.04	0.42	0.38	0.17	0.46	-	0.75	-	-	-	-	-
	全国	第40週	0.17	0.30	1.47	3.35	0.23	1.08	0.45	0.43	0.84	0.13	1.58	-	1.01	0.02	0.03	0.30	0.01	0.01
		第41週	0.12	0.25	1.29	2.99	0.27	0.91	0.35	0.38	0.55	0.11	1.15	0.01	0.86	0.02	0.05	0.33	-	0.01

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	丘疹	2	男	2018/09/05	咽頭拭い液	パレコウイルス3型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 濾胞性瞼結膜炎 眼瞼腫脹	25	男	2018/08/27	結膜擦過物	アデノウイルス56型
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎 項部硬直 頭痛	12	男	2018/09/04	糞便	エコーウイルス11型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	2	女	2018/09/09	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の消化器疾患	嘔吐	0	男	2018/09/06	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.5)	0	女	2018/09/11	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★風しんに注意しましょう！～妊婦への感染を防ぐために～

全国の風しんの累計報告数は1,289件(第41週現在)となりました。患者の多くは30代から50代の男性で、この年代の男性においては、風しんの抗体価が低い方が2割程度存在していることが分かっています。

先天性風しん症候群の発生を防ぐためには、妊婦への感染を防止することが重要です。風しんはワクチン接種で予防可能な感染症ですが、妊娠中の女性は接種できません。現在妊娠の可能性のある方は、産婦人科の医師にご相談ください。

広島市では、妊娠を希望する女性及びその同居者等の方を対象に、無料の風しん抗体検査を実施しています。抗体価が低いことが判明した方については、妊婦とお腹の子どもを守る観点から予防接種を受けましょう。

【参考】

- ・風疹急増に関する緊急情報(2018年)(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>
- ・風しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/
- ・風しんに要注意！(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1338441470548/index.html>
- ・広島市では無料の風しん抗体検査を行っています。【先天性風しん症候群を防ぐために！】(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1395648504256/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第42週(10月15日～10月21日)